

# 委員会の焦点

～委員会審査報告から～

## 温泉開発の可能性は

産業建設委員会

温泉開発の可能性は、  
産業建設委員会に付託された議案は、  
決算案件5件、条例案件3件、事件案件1件、予算案件4件で、いずれも原案のとおり認定及び可決すべきものと決しました。平成26年度一般会計決算認定の審査の中で、熱利用調査の中



片丘地区内で実施された源泉についての地質調査

## 市施設の無償譲渡と 条例廃止

福祉教育委員会

市施設の無償譲渡と条例廃止についての議論がなされました。この中で、平成26年度一般会計の決算認定、条例案件3件、指定管理者の指定3件、財産の無償譲渡2件、補正予算案件2件で、いずれも全員一致で認定及び可決すべきものと決しました。

障害者就労支援施設条例を廃止する条例案は、広丘野村にある当該施設を塙尻市社会福祉協議会に無償譲渡することに関するものです。障害者施設の充実を図り、効果的、効率的な管理運営を確保し、障がい者の福祉向上に資するという説明がありました。

## より堅実で有効な 財政運営を

総務生活委員会

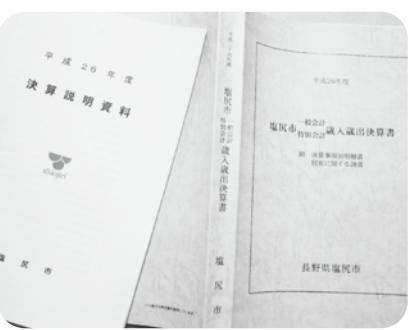
より堅実で有効な財政運営をめざすため、条例案件2件、事件案件1件、予算案件4件で、原案のとおり認定及び可決すべきものと決しました。また、6月定例会

の一般会計決算の状況は、歳入総額29億円余に対し歳出総額は287億円余となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、約6億5千万円の黒字となつたことがものと決しました。

障害者福祉センター条例、障害者就労支援施設条例を廃止する条例案は、広丘野村にある当該施設を塙尻市社会福祉協議会に無償譲渡することに関するものです。障害者施設の充実を図り、効果的、効率的な管理運営を確保し、障がい者の福祉向上に資するという説明がありました。

改修費用負担や指定管理料がなくなって、受ける側の採算は取れるのかとの質問に、現在も収益があり、自主事業が増えて障がい者の利用増が見込まれ、社協側も了解しているとの回答がありました。

また、教育関係の請願1件を採択すべきもの、更に陳情1件を採択と決しました。



分厚い決算書

説明されました。こうしたことにより、市の「貯金」とも言える財政調整基金は、38億円余で過去最高となりました。しかしながら、今後、新体育馆建設など多くの事業が予定されています。厳しい財政状況の中で一層堅実な財政運営はもちろん、より有効な予算配分や基金の活用が求められます。



しおじり街元氣カンパニーの経営状況について事業報告書及び決算報告書の提出と説明を求め、同時に今後の事業運営について質しました。さらに、塙尻駅西口の区画整理事業に関して、随意契約をおこなったコンサルタントの概要がわからぬため、資料の提出と、具体的な説明を求めました。